

白印

しょういん

奈良の印刷 2020 7月号 第141号 (令和2年7月号)

奈良県印刷工業組合
〒630-8215 奈良市東向中町6
TEL 0742-26-5474 FAX 0742-95-5321
<http://www.nara-inko.or.jp/>

写真: 中村宏規
(題字筆 池田源太・奈良教育大学名誉教授)



理事長今期方針



乾 昌弘理事長

今般の新型コロナウイルスのパンデミックによる影響は深刻で、国内外とも人々の暮らしや企業の事業活動に制約を求められ、日本はもとより世界経済に暗雲がたれこめていきます。まさに、現代社会は未曾有の事態を迎えており、今後まったく油断できない状況にあります。

奈良においても同様、観光産業・印象業をはじめとして多くの企業が大きな打撃を受けています。

そのような中、先般発表された工業統計速報では、平成30年印刷・同関連産業の出荷額は4.8兆円となり、初めて5兆円を割り込みました。また、昨年度行われた経済産業省「印刷産業における取引環境実態調査」では、需要減少に対する供給過剰の状態、印刷設備の稼働状況は年々悪化していること、経営者の高齢化進展に伴う事業承継の課題などが明らかとなりました。これらのことが

ら、私たち印刷産業は産業全体としてこれからの社会経済にあった構造改革の必要性がより一層求められています。

そのため、全印工連においては、IoT技術を活用した各社の収益の見える化の促進と、各組合員企業の生産システムの連携と高効率化を目指したDX（デジタルトランスフォーメーション）の調査研究と推進を図り、同時に、各社がソリューションプロバイダーとしてさらに特色を磨くことによる収益性の向上と、「幸せな働き方改革」の推進による人材確保と育成、これらによる印刷産業全体の構造改革に着手するというところで、これはおおいに期待したいところです。

奈良県工組におきましては、新型コロナウイルスをひとつの機会として、官公需対策については、地元優先発注により一層力を入れ、同時に著作権保護、最低制限価格制度にも引き続き取り組んでいきます。また、今回のコロナにより、リモート会議・セミナーが一気に広がりました。これにより、従来は工組単位で開催していた各種セミナーを工組の枠を超えてオンライン開催により参加できるように申し入れをしており、おそろく実現することかと思えます。

また、組合各社にご協力をいただきましたお絵かき用紙進呈プロジェクトは、想像以上に苦勞をおかけしましたが、進呈先の幼稚園や小学校から御礼状をいただいたり、明るい話題のない印刷業界の中で、とてもいい取り組みだということで業界紙に掲載いただいたり、自民党中小印刷産業議員連盟総会の中でも紹介があったりと、大変評価していただきました。これもひとえにご協力くださいました各企業のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

さて、コロナが感染し始めた頃、アフターコロナとしてどうあるべきかという議論がなされていきましたが、コロナが長期化するであろうと思われる今、アフターコロナではなくウイズコロナの考え方が主流になってきました。これはつまり、「コロナが終息するのをただただ耐えるのみ」という考え方はもはや生き残ることができず、新しい生活様式を求められるコロナの中で、今までとは違う観点で新しい取り組みをすることが求められています。言い方を変えれば、このコロナが新しいチャンスを与えてくれていると考えるべきかと思えます。全印工連で行っている大喜利印刷は、このウイズコロナの中での新しい取り組みをする

のに参考になるかと思えますので、組合各社での情報交換、そして全印工連の取り組みを取り入れながら、この極めて厳しい難局を乗り越えていきたいと思えます。

理事長今期方針	2
近畿地区印刷協議会 理事長会報告	3
令和2年度全印工連組織・委員会機構図	5
「印刷産業DX推進プロジェクト」	6
令和2年度例会開催工組変更 及び 令和3年度総会の開催工組	6
近畿地区印刷協議会・委員会開催のご案内	6
奈良工組理事会 情報交換会	6
組合協賛企業広告	7~8

もくじ

Contents

近畿地区印刷協議会 理事長会報告

議長 開催県工組京都工組理事長

笹原 あき彦氏

1. 東條会長より会長引継ぎメツ

セージ (兵庫工組武部理事長へ)

・全印工連 滝澤会長挨拶 コロナウイルス感染の影響によるWEB会議開催の経緯について説明、コロナ対策への情報収集と有益な情報発信、特に行政や国会議員への要望を通じ業界への支援を要請したことについての発言があった。コロナウイルスの影響により業態のソリューションプロバイダーとしての役目への転換が加速化すると予測とともに前年度より継続のハッピーインダストリーの施策を推進していくことについて説明された。

・引き続き、全印工連池尻専務より令和2年度の全印工連の組織・委員会(役員等の変更等) 運営体制(新たにDX委員会の設置、従前からの4常設委員会、ダイバーシティー委員会をCSR委員会へ統合等)、予算規模(今後、コロナの影響による予算修正を加えながら)、事業計画等発言された。
・再び、滝澤会長より経済産業省の

経済成長戦略、補助金を活用した印刷産業構造改善(生産性向上)の新戦略DX(デジタルトランスフォーメーション)について、従来の受注スタイルによる価格の低下と非収益性の負のスパイラルからの脱局を目指す新たなプラットフォーム(AI活用)を介した受注のモデルケース(新システム)の実施に向け現在、設計中であり(付加価値を高め生産性・収益を向上させる)、今後のスケジュールについて説明された。

※質疑応答(全印工連回答)

・滋賀工組大森理事長より

今回のDX開発費用の予算規模について質問された。

・滝澤会長より補助金の補助率(1/2)並びに予算額(総額1億円・補助額5千万円)について説明された。

・大喜利印刷について瀬田副会長より趣旨説明、Twitterでの要望に廃材など既存のものを利用しながらニーズにあったものを作り上げる。①業界のイメージアップを図ること(印刷会社の持つ様々なスキルや商材など広く伝える)②ミラノデザインウィークへの出展を目標としていた。今年度はコロナの影響で残念ながらできなかつたが都内での展示会を計画している。(次世代への

イメージづくり)③大喜利印刷を自社の新たな取り組みのきっかけにしていたできれば、など説明された。幸せな働き方改革について

・池尻専務よりこの度「幸せな働き方改革」シーズン4「就業規則整備編」、5「人事考課・給与規定整備編」が完成、これをもって全編(シーズン1~5)が完結した。この全シーズンを各都道府県のセミナー等で活用いただくようにとのことであった。

全青協について(次世代への支援)

・瀬田副会長より青年会が縮小あるいは整備されていないところへ、プラットフォーム(近隣の都道府県同士のスクラム・ネットワーク)による次世代青年会の発掘を各府県理事長へ依頼された。

・池尻専務より地区委員会開催について各委員会の活動内容を全体に知っていた(落とし込み)ことを目的にそれぞれ行っていた(よく)う依頼され、併せて開催後の報告書のフォーマットについて説明された。

2. 令和元年度事業報告並びに決算

報告、令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、大阪工組事務局長より資料のとおり読み上げ、審議しすべて承認された。

3. 新型コロナウイルスの影響による全印工連、組合運営について

・池尻専務理事より全国(理事長)のアンケート調査結果による近畿地区協各理事長へ主な意見としてオンラインセミナー、官公需対策については地元発注について、各都道府県の動向についてなどについての発信、助成金等の情報などの要望があった。これらについて議連総会へ要望書として提出、国会議員・国の行政機関へ伝えたことを説明された。官公需契約の実態調査について後日、各都道府県工組事務局へお願いすることの説明があった。

以降、各理事長へ意見聴取を行われた。

① 福井工組理事長より、特にアンケート調査は行っていない。助成金無利子の融資を受けている組合員もあるようになっている。総会では実施(委任状も含め)、高齢化、後継者不足など厳しい状況であること(を)を発言された。

② 滋賀工組理事長より、やはり売上げ減が続いている模様。コロナ対策の事業所手順、指針を県内組合員にお示しできるよう整備している。県内の状況について観光分野ではマイクローツーリズムなどの取り組みなど徐々に動き出している状況を

説明された。(経済復興) また、理事會・総会は書面議決であった。

③ 京都市組理事長より、総会は印刷會館で開催、行事関係は中止、延期となっている。

勤続表彰も中止。賦課金の減額や返金などへの要望に対し組合員の退会の対応、組合の運営を勘案し、急ぎの対応ではなく、模様を見ながら対応していく。全印工連へは賦課金の減額、支援策を要望する。

④ 大阪は独自にアンケートを実施した結果を報告。約半数が何らかの影響を受けている。今後増えていく予測となっている。今後事業の見直し等について、MUDコンペ大阪は中止、全国に一本化、ZOOM会議のアカウント取得による遠隔会議の環境整備、助成金申請のマニュアル(休業訓練支援併せて) 動画等の制作と活用、賦課金については各支部の余力を活用いただくよう理解を求めている。

⑤ 兵庫工組理事長より、組合員への聞き取り調査は未実施。今後実施する予定。廃業なども徐々にあり心配などところではある。マスクの配布、賦課金の減額。今後情報の収集を行い、対応について検討していく。

⑥ 奈良工組理事長より、売り上げの減少について会社によりばらつき

はあるが長期化が予想されることから今後も情報収集に努め対応策を考えていく。理事会(書面)、総会(役員のみ)を行った。デッドストックの用紙を使った、お絵描き用紙を幼稚園・小学校へ4万人程度分を配布した。

⑦ 和歌山工組理事長よりアンケートは未実施、5月の自粛明けに組合員へマスクを配布、訪問した際にコロナの状況をお聞きした。会社規模により影響の出方に差があるようであった。総会、理事会も書面で行った。6月の理事会は会場で行った。今後、会議の開催についてZOOMを取り入れて行いたいとの考えを示された。

⑧ 愛知工組理事長より總會書面(三役) 理事長メッセージはYouTubeにより実施。今年度は研修、セミナーはリモート利用を積極的に行う(受講料の無償化)方針とした。(組合離れの阻止も意図して) 断裁機の講習会(学科)はリモートとする。中部5県のポスターグランプリは実施する。全印工連へは働き方改革などの情報発信をお願いしている。以上発言された。

⑨ 滝澤会長よりZOOM有料アカウントを全地区協へ配布済み、奈良工組のお絵描き用紙の配布については

議連總會にも取り上げられ高評価をえた、次に組合員メ리트表(大阪工組、作道副会長作成)の最新の情報を各府県工組へお送りし、活用していただくよう、また、全印工連の遠隔教育システム(オンラインセミナー)のサーバー容量増により各府県工組でお使いいただける環境を整えており是非活用いただくようにとの発言であった。

4. 各府県工組活動・要望

① 福井工組理事長より事業は秋以降で、会報発行は夏(8月上旬)以降、委員会の活動、

官公需に関しては具体的なものは出しておらず、継続となった。

② 滋賀工組理事長より来月の理事会よりスタートとなる、新生活様式の中で取り組む。

リモートを取り入れながら今後の活動に活用したいと述べられた。

③ 兵庫工組理事長より5月總會実施、役員の総交代、7月10日に4委員会と理事会を実施する予定であることを述べられた。

④ 奈良工組理事長より、お絵描き用紙の配布について苦労はあったが、やってよかった、

また、官公需について、なかなか、進捗していない。奈良市の状況については宿泊・飲食関係のみに手厚く、

他業種は置き去りになっている。印刷については市の発注が県外となっており是正するよう議員を通じ要望した結果、地元発注になったこと。JPPSが県からPマークと同等に扱えないとの見解が示されたことなど報告された。

⑤ 大阪工組理事長より委員会活動は本格的ではないが、今の状況下でできること、例えば、国の支援事業としての中心市街地の活性化。国において印刷業界が提案できることを採用してもらえよう様々な商材を集め大阪府市、経済産業局に示し印刷業界のもつ潜在能力を行政にも理解してもらえよう働きかけていく、議員の力等を借りながら情報の発信ができる環境づくりを行っていく。

⑥ 和歌山工組理事長より5月以降の県の電子入札の要綱に自社印刷という項目が追加された。(一般の印刷物)

⑦ 京都市組理事長より原点回帰で「にぎわおう」をテーマに事務局の負担軽減(働き方改革)。ペーパーレス、議事録の簡素化など行う。130周年(2021・5月祝宴)開催予定について報告があった。

笹原理事長よりJPPSとPマークについて奈良工組理事長へ内容を

確認された。
 (JPPSはPマークと内容同等、Pマークと比較して安価であること。)

和歌山工組理事長より特になし。
 大阪工組理事長より全印工連の見解をしっかりと地方へおろしてほしいと要望された。

滝澤会長より教育研修委員会よりツール整理しお示しできるようにしたいとの回答。

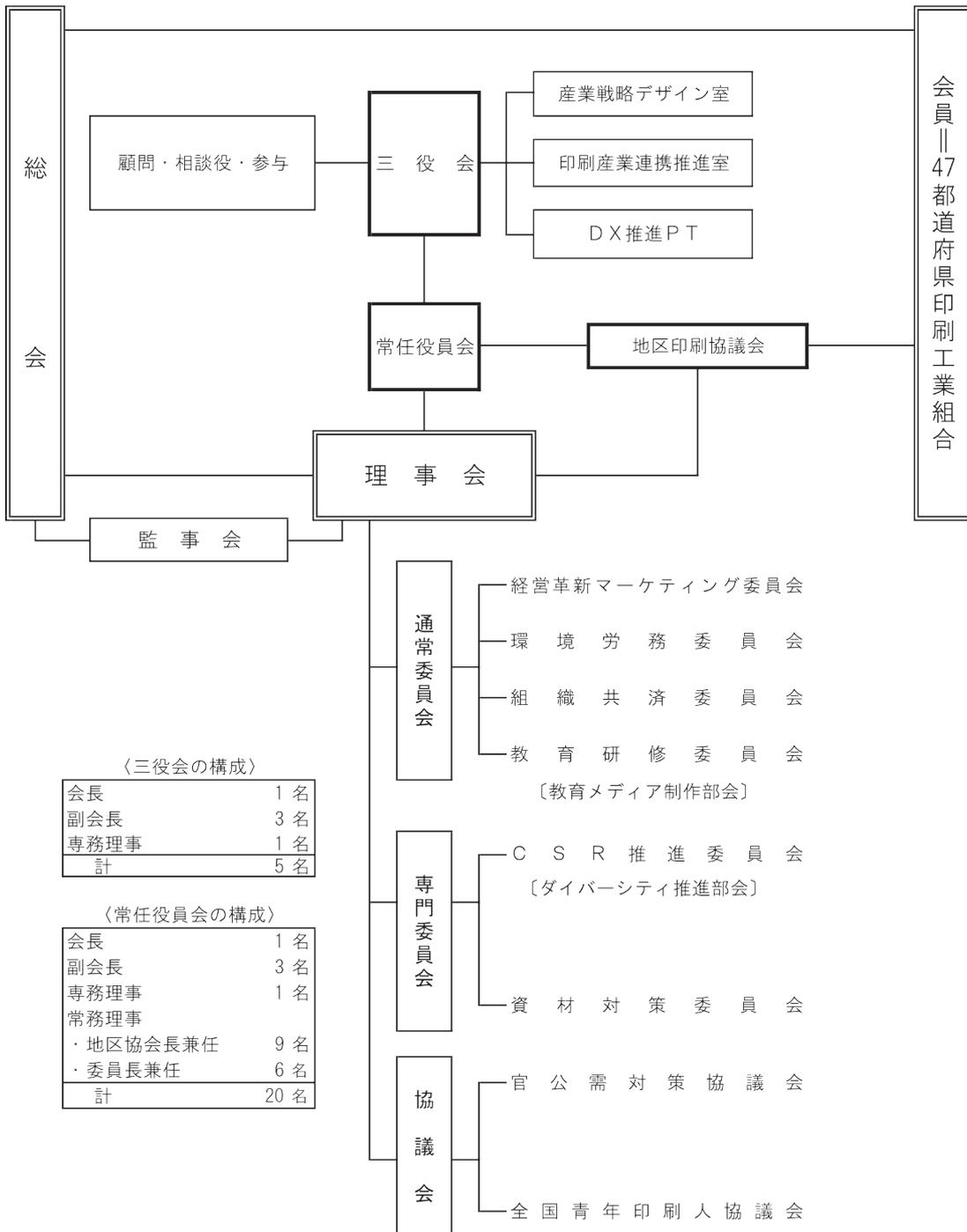
和歌山工組理事長よりJPPSについて新規取得(応募者が少ない)について開催時期が合わないので、開催に困難をきたしている。全印工連にて調整できないか要望された。

池尻専務理事より教育研修委員会に諮り要望にお応えできるようにしたいとの回答。

その他として大阪工組理事長よりJPPSについても遠隔教育を取り入れることができないか検討していただくよう要望・意見補足があった。
 滋賀工組理事長より商店街の活性化、アフターコロナメッセの情報を願っていたとの大阪工組へ要望があった。

大阪工組理事長より担当委員会でネタを集める。タイムスの販促協議会により収集したものを併せて、皆さんへお披露目できるように

令和2年度 全印工連組織・委員会機構図



たしたいと回答された。
 ※兵庫県工組武部理事長から新会長の挨拶があった。



「印刷産業DX推進プロジェクト」

3頁の報告にもあるように全印工連で経済産業省補助金活用による「印刷産業DX推進プロジェクト」を立ち上げている。そもそもDXとはデジタルトランスフォーメーションの略である。

経済産業省が2018年12月にまとめたDX推進ガイドラインは、「DXの実現やその基盤となるITシステムの構築を行っていく上で経営者が抑えるべき事項を明確にすること」そして「取締役会や株主がDXの取り組みをチェックする上で活用できるものとする」とを目的としています。この中のDXの定義は以下の通りです。

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

この定義では、企業という言葉が出てきた分、私たちが取り組むべきことがわかりやすくなってきました。DXは単に製品やサービスを変革するだけでなく、企業文化までを

変えて、取り組むべき覚悟が必要であることを示しています。ただし、企業の役割を考えると、この定義だけでは足りません。いくらDXを実現したところで業績が悪くなってしまうたら、だれのための改革かわかりません。企業としてはやはり利益の追求が必要でしょう。したがって、先のDX推進ガイドラインの最後に、「それによって企業として安定した収益を得られるような仕組みを作ることを加える」とよりDXの定義が明確になると思います。

まとめるとDXの定義は以下となります。「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。それによって企業として安定した収益を得られるような仕組みを作ること」

令和2年度例会開催工組変更及び令和3年度総会の開催工組

◆令和2年度 例会

日程 令和3年2月26日(金)
開催工組 兵庫県印刷工業組合

開催場所 神戸ポートピアホテル(院)
◆令和3年度 定時総会

日程 令和3年6月25日(金)
開催工組 滋賀県印刷工業組合

開催場所 ホテルホストンプラザ草津(院)
◆印刷文化典長野大会は来年秋に延期です。

近畿地区印刷協議会委員会開催のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全印工連の各委員会の情報共有を目的として、本地区の各委員会においてはZoomを使用し、の委員会を開催いたします。

1. 日時
 - 第1分科会…経営革新マーケティング
↓令和2年7月28日(火) 14:30~16:00
 - 第2分科会…環境労務
↓令和2年7月28日(火) 10:30~12:00
 - 第3分科会…組織共済
↓令和2年7月27日(月) 14:30~16:00
 - 第4分科会…教育研修
↓令和2年7月29日(水) 14:30~16:00
 - 第5分科会…官公需対策
↓令和2年7月29日(水) 10:30~12:00

◆理事会・情報交換会



理事会・情報交換会の様子

7月10日(金) 奈良県経済倶楽部5階で午前10時から理事会・情報交換会を開催しました。

理事会、総会等が書面開催、小人数での総会となりましたので新年懇親会以来での顔合わせとなりました。今回の理事会は、全印工連理事会、近協理事会の報告内容とDX(3頁~6頁)についての説明に時間を費やしました。

コロナ禍で売り上げの落ち込みもある中、会議室の扉を開けてソーシャルディスタンスを保ちマスク着用での会議は話すほうも聞くほうもいつも以上の集中力が必要となりました。

表紙写真の説明

瑜伽山園地

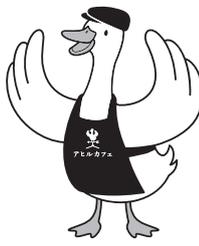
瑜伽山園地は、奈良公園の南端、浮見堂と鷺池の南側に位置する広さ約1.3haの園地です。昭和2年に国指定文化財「名勝奈良公園」に追加指定を受けました。

当該地が位置する高畑町は、明治期から昭和初期にかけて、志賀直哉をはじめ、日本を代表する文人や画家が住居やアトリエを構えていました。特に、昭和初期には志賀直哉を慕い文人達が来訪し、文化的な交流(サロン)を深めており、町全体に文化的な雰囲気広がっていました。当園地は明治期から大正期にかけて大阪財界で活躍した山口吉郎兵衛氏の別荘があり、小見寺八山などの画家や茶人等が庭園や茶室で文化的な交流を図った史実が残っています。園地内に現存する庭園は、近代の奈良公園を代表する庭園である

と高く評価を受けています。
 瑜伽山園地、旧山口氏南部別邸庭園として本年から一般公開されています。
 入園料 無料
 茶室は有料(予約制)
 電話〇七四二二二二一五九一



がんを含む
病気やケガの備えに



ライフステージの変化に
ちゃんと応える
医療保険EVER

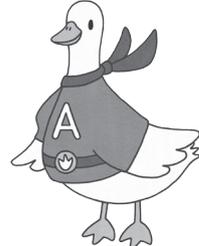
健康な人も、病気になった人も、
ライフステージの変化に合わせて
保障を変えられる医療保険

No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号

約**4世帯**に**1世帯**がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)

●契約年齢●
**0歳~
満85歳まで**
※ご契約内容により異なります。

心配な「がん」の備えに
NEW



NEW/
アフラックの
生きるためのがん保険
ALL-in

幅広くまとめて保障するがん保険

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社

☎0120-357-212 FAX03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック
東京第一法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル19階
Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565
AFツール-2020-0056-2005006 1月31日

印刷資材でSDGsの九つのゴールの実現に
協力していきます。

モトヤの環境対応資材



ECONoMISTは、
消耗品による環境改善を
実現します。



ECOノMISTは、
お客様と共に「環境」と「価値」を考える、モトヤの資材ブランド。
消耗品による環境改善を実現します。

※ECOノMIST全商品はグリーンプリンティング(GPマーク)を認証取得しています。



株式会社 **モトヤ**

大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 ☎(06)6261-1931(代)
東京・横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡



\\SDGs達成のための「ひとつ」のご提案です\\

「脱プラ」で海を保護。

環境に優しい包装材。
内側の緩衝材もすべて紙で作りました。
海を汚染するプラスチックを削減するための「ひと工夫」です。

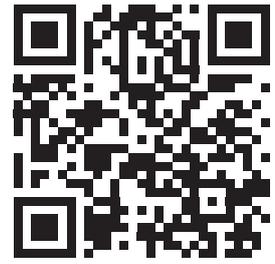


株式
会社

イムラ封筒

〒542-0076 大阪市中央区難波五丁目1-60 なんばスカイオ18階
TEL:06-6586-6482

↑詳しくはWebで



<https://service.imura.co.jp/labo/2019/08/kaminet-fo.html>

KOMORI

ポストプレスもやっぱり
KOMORIにお任せください。

Apressia Series

株式会社 小森コーポレーション

大阪支社 〒536-0016 大阪市城東区蒲生 2-11-3 TEL.06-6939-3051



POSTPRESS
by KOMORI

ラインアップ・活用事例 ▶
お問い合わせはこちら



<https://www.komorisolutions.com/postpress/ja/>

FUJIFILM

Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します——成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバル グラフィックシステムズ株式会社 [ホームページ http://fjgs.fujifilm.co.jp](http://fjgs.fujifilm.co.jp)
大阪支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号 大阪センタービル 06(4704)8401

一生涯のパートナー

第一生命

私たち第一生命は、お客さまの大切な人生、大切な人、大切な未来のために、
保険というかたちある「安心」をお届けし、その「安心の絆」を確かなものにしていくことを
願っています。私たちは、これからも、お客さまの「一生涯のパートナー」として、
「生涯設計」によって、かたちある「安心」をつくり、届け、広めてまいります。

第一生命保険株式会社
奈良支社

奈良県奈良市角振町18 奈良第一生命ビル2F Tel 0742-26-2821(代)
第一生命ホームページ <http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

リョービMHI

グラフィックテクノロジー株式会社

お客様と共に。

リョービ株式会社と三菱重工印刷紙工機械株式会社は、
オフセット枚葉印刷機分野の事業を統合し、
新会社となって印刷機器業界を革新します。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 西日本支社 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 TEL 072-685-1171 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>